

## 学校規模適正化・適正配置に関する地域説明会(会議録)

1 日 時 令和7年8月6日(水)、18:30~19:45

2 開催場所 小佐野コミュニティ会館

3 参加者 12名

4 事務局

### 【教育委員会事務局】

高橋勝教育長、川崎浩二教育部長、笹村聡一総務課長  
佐々木薫学校規模適正化推進室課長、岩淵勝也学校教育課長  
鈴木隆光学校教育課主幹、前川恵美総務課長補佐  
谷藤太郎学校規模適正化推進室長補佐

### 【市長部局】

村山明子保健福祉部次長、佐々木義友総務課長、二本松史敏生活環境課長  
菊池拓朗商工観光課長、佐々木敏之水道事業所長、土橋照好防災危機管理課長

5 経過

(1)開会

(2)教育長あいさつ

### 【高橋教育長】

本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。(中略)

特にも今回は、小佐野地区については統合の対象にはなっておりませんが、逆に言うところのままでいいのだろうか、小佐野地区の今後のこと、そして、市全体として今回の推進計画案でいいのか、様々なご意見をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(3)職員紹介

(4)説明

(教育委員会事務局より説明)

(5)意見交換(質疑応答)

### 【参加者】

まず、2ページに通学区域の変更とありますが、これはいつから実施するのですか。集約

してスタートした4月からですか。中妻地区生活応援センターで説明会があったが、小佐野と双葉と分かれているが、釜石小と双葉小が統合し、釜石小の校舎を利用する場合、新町は小佐野が近いという話が出ていた。今後どうするのか。

【教育委員会事務局】

通学区域の変更については、学校統合と足並みを揃えて実施と考えています。先行してそこだけやるというようなことではなく、合わせて考えています。

【参加者】

答申を受けてから教育委員会として変えた内容はありますか。プラスした所、または削除した所はありますか。

【高橋教育長】

今回の推進計画案については、基本方針に沿って具体的にこうしますというふうにしたもので、基本方針と、この推進計画案については一致しています。

【参加者】

釜石小学校と双葉小学校の統合が計画後期なのはなぜですか。2年か3年、前倒しにできないんですか。

【教育委員会事務局】

これから地域の方や保護者の皆さんと協議を重ねていきますが、合意が得られて前倒しできる体制が整いましたら、前倒しで実施していきたいとは考えています。

【参加者】

双葉小と釜石小のどちらの校舎を利用するかということに対しては、今のところニュートラルなんですね。箱モノを考えれば、釜石小というのは大渡小のときからの建物なので、老朽化を考えれば双葉小のほうが新しい。個人的には、むしろどの校舎を使うか決めたほうがいいのではないかと。

【高橋教育長】

今教育委員会で検討していきまして、現在併記する形にしていますが、成案を出すときには、絞って提示したほうがいいのかどうか協議して、提示したいと考えております。

【参加者】

津波のことを考えれば釜石小だが、ただ、双葉小のほうが内陸なので、津波の浸水区域

にも入っていないので。

#### 【高橋教育長】

併記した理由の一つは、栗林小学校や白山小学校は教室の広さもあって使うことができないことが明確になっていて、鶉住居小学校や平田小学校の校舎をそのまま使うというのが明確なのですけれども、双葉小と釜石小の場合には、教室の広さも同じで、そのあたりも協議する必要があるので、いろいろなところでご意見を聞きながら、今後協議していきたいと思います。

#### 【参加者】

小規模校のメリット・デメリットを検討したということですが、そのメリット・デメリットについて、詳しくお聞きしたいと思っております。

#### 【教育委員会事務局】

1つ目の資料の「学校の小規模校化に伴う課題」を見ていただくと、デメリットが分かるかなと思います。小学校においては、「切磋琢磨する環境が作りにくい」、「学習活動が制限される場合がある」、「2つの学年の指導に伴う授業の準備など教員の負担増」などがあります。

メリットは、基本方針を作ったときに、検討委員会を設置して、その中でいろんな意見を頂戴した経過もあります。その中で、小規模校はやはり生徒一人ひとりに対して先生方の指導が行き渡りやすい、運動するに当たっての用具類も行き渡りやすい、という部分がありました。あとは、異学年の交流が行われやすいと伺っています。

#### 【参加者】

不登校の対応は、小規模校のほうがメリットがあると思います。そういうところは検討されたのでしょうか。

不登校が増えている現実と学校規模の適正化というのがどういうふうに関係したのかお伺いしたいと思います。

#### 【高橋教育長】

不登校について釜石市の現状を見ますと、小規模校、人数が少ないところであっても不登校の子どもたちがいるのはその通りです。小規模校は不登校が少ないのではないかなというイメージがあると思いますが、最近は、人数が多いところは数からすると多いのですが、意外と小規模校でもある程度の発生率になっています。ですから、今現在の状況を見ますと、人数が多い少ないということではなくて、これは市全体の問題として、考えていかなければならないと捉えております。

【参加者】

小規模校でも不登校が多いということで納得しました。不登校の子どもたちに対する教育環境の整備がなかなか整えられていないという思いがありまして、今回の趣旨とはちょっと違うかもしれませんが、教育基本方針の強く生き抜く力を持つ子どもを育てるという考え方からして、不登校の子どもたちへのケアが足りないということを要望としてお伝えしておきたいと思います。

【教育委員会事務局】

当市としまして、不登校の対策はより一層充実させていかなければいけない課題であると捉えております。今年、特に中学校に学校教育支援員を、不登校のお子さんの支援の充実というところで、配置をさせていただきました。なかなか学校に行けないお子さんに対しては、通級の教室を開設しながら、引き続き、今後より一層、不登校の児童生徒さんへの支援・サポートに力を入れたいと考えております。

【参加者】

何点かお尋ねします。

過去に統合計画の説明があると、地域が反対をするのだけれども、現役のPTAは賛成するということがあったのですが、今回説明会をしてきた中で、また学校での説明もあったかもしれませんが、親御さん方の率直な意見を把握していれば教えてください。

それから、鶴住居地区だけ「小中一貫校」というフレーズが出てきて、それが良いものであれば、283号線沿いであろうが、あるいは45号線沿いであろうが、釜石中学校とその学区とかの施設分離型の小中一貫校という考えがあってもおかしくないのではないかと。校舎を建てたというのはその通りですが、他の学区は小中一貫教育ではなく従来型の教育となると、ちょっと違和感を覚えたのでご説明いただければと思います。

【教育委員会事務局】

保護者の皆さんからの意見ですが、複式学級がある学校の地区の保護者の皆さんと懇談、あとは未就学児の保護者の皆さんにアンケートを取りました。保護者の皆さんの意見とすれば統合が必要だと考えている方が多いという結果が出ております。市内全域にもアンケートを取った中でも、学校統合について「必要」・「どちらかといえば必要」という回答が75%ぐらいありましたので、概ねそちらのほうの意見が強いのかなとは確認しております。

【高橋教育長】

小中一貫教育についてお答えいたします。

導入に当たって、中学校の統合で釜石中学校はある程度の規模が確保できますが、そ

れに対して東中学校は単独ですと人数が少ないというデメリットも出てくる中で、小中一貫教育を行うことで、人数的に言えば、例えば、いろんな学びや行事を合同でやることでデメリットを解消できるのではないかと考えています。

それから、中学校が釜石中学校にまとまったときに、残った小学校、例えば甲子小学校、平田小学校は遠く離れています。そういった部分で小中一貫教育をやるときに、先生方の移動等でデメリットがあるだろうということです。

それに対して、釜石東中学校と鶴住居小学校は校舎が一体型なので、児童生徒の行き来や先生方の移動などの負担がないこと、それから栗林小学校が加わることで地域との連携もより図られる部分があるのではないかと考えています。

これまでも小中連携はしてきましたが、小中一貫教育にすることによって、その連携がより高まることに期待しているところです。

#### 【参加者】

先ほど話が出ましたが、確かに双葉小学校の校舎は開放感があって非常に良いと思っておりますが、校舎内の問題があります。雨漏りがあります。修繕するのも相当お金がかかるという話をされていますが、統合して使うに当たって、その辺はどうなっていくのか。

それと、校舎は新しいが、プールと体育館は老朽化しています。そういったところも改善されるのかどうなのかお聞きしたいと思っております。

先生方の仕事も大変だなというのを目にします。統合するに当たって先生方の適正配置があると思いますが、今の釜石市の先生方の人数は足りるのか余っているのか、どういう状況かお聞きしたいと思います。

#### 【教育委員会事務局】

施設関係についてお答えします。

雨漏りについては把握しておりますし、先々月、屋上に上がって業者さんに見てもらった経過があります。何年後になるかはお答えできませんが、今見積もりをお願いしていました。併せて今、市のほうで令和8年から3年間、どういった事業を行っていくか調査が行われており、その中で双葉小学校に限らず、今回の適正化に関する統合対象となる学校で老朽化している学校がありますので、雨漏りやトイレの洋式化、校舎内の照明のLED化など、優先順位をつけながら対応したいと考えております。体育館についても、古いのはご指摘の通りです。ただ、今新築するには、おそらく数億円かかる状況です。老朽化しているのはその通りですが、現状では今のまま使用していくというところです。

#### 【教育委員会事務局】

教職員の配置について、お答えします。

基本的に教職員の配置数については、学級数に応じた人数が配当基準と決まっております。

ます。配置に当たっては、釜石市内の先生方の配置でも、岩手県教育委員会で県全体として検討しますので、そこはバランス良く、過不足なく配置していただけたと考えております。併せて、これまでの様々な学校が統合してきた様子を見ますと、統合した際には、児童生徒への支援というところで、スタート時期は様々な学校運営する上で人材も必要であろうということで、加配教員を配置する配慮をしていただくことが多いと思っております。こちらとしては、そういったところが大事だと思いますので、統合した際にはそういった教員の配置、プラスアルファの配置を含めて県に要望等をしていきたいと思っております。

#### 【参加者】

冒頭にICTの活用についておっしゃっていた気がするのですが、具体的にどのように導入をしていこうとしているのかお聞きしたいです。

#### 【教育委員会事務局】

ICTにつきましては、子どもたちが1人1台タブレット端末を学びのツールとして活用していくということで、既にコロナ禍の時期から全国的に進められているところです。ICTの良さは様々授業の中ではありますが、例えば、遠隔地とのオンラインにも活用できることもあると思います。

当然、ICT環境の充実を図ってまいります、来年、タブレットの更新時期でもありますので、新しい機器を導入することにより、ICTを活用した学びが充実すると思っております。

ただ、オンラインで学ぶ良さもありますが、国のほうではオンラインとリアル、実際に子どもたち同士が対面する学びの両方が大事だと言われていますので、それぞれの良さを考えながら子どもたちにとっての学びを充実できるよう、学校の先生方と一緒に考えていきたいと思っております。いずれICTの部分については、より一層充実を図っているところでございます。

#### 【参加者】

ぜひ、有効にデジタル技術を活用して、子どもたち、あるいは教職員の負担軽減に役に立てていただきたいなと思っております。よろしく申し上げます。

#### 【参加者】

スクールバスについて。現在何台で運行しているのか。統合後はスクールバスが増えると思いますが、何台くらい増えて、コスト的にはどうなるのか。

#### 【教育委員会事務局】

スクールバスは現在11台所有し、そのうち9台で運行しております。なぜ、2台余るかという、故障や車検などいろいろなケースがありますので、その対応のためとなります。

必要台数については、小学校5校が10年度までは今の数で対応できると試算しております。

す。中学校の統合を考えると、いろんなケースが出てきますが、登下校を全てスクールバスだけで対応するとなると、3、4台プラスになると試算しております。ただ、公共交通機関をもう少しうまく利用できればスクールバスは今の台数で運行することも考えられるのかなと思います。例えば、中学校では甲子中学校の生徒が松倉駅から釜石駅までJRを利用する、また唐丹・平田地区の中学生が三陸鉄道を利用するなど、そういった公共交通やバスの利用も考えながら進めていければと思います。

【参加者】

朝、学校に着くまでの時間は、大きなところで何分くらい差がありますか。例えば、6時半に出発して学校に到着するのが7時半でとか、1時間くらいスクールバスに乗る生徒はいるのですか。

【教育委員会事務局】

今現在ですと、1時間はかからないです。大体45分くらいです。

【参加者】

一番遠いところからですね。

【教育委員会事務局】

はい。

【参加者】

逆に帰りは難しいのではないかと思ったりします。学童に行く子どもと行かない子どもが出てきて、学童に行かない子ども何人かのためにスクールバスを運行する。学童が終わってまたスクールバスを運行するということもあり得るんですか。

【参加者】

学童は保護者の迎えで帰ることになっているのでバスは使わないです。

【教育委員会事務局】

今現在、例えば、中学校では大会が近づいてきたときに部延長を行う場合は増便して対応しております。統合になりましたら、そういった所も学校や保護者の方と十分に話し合っ  
て柔軟に対応できればと考えています。

【参加者】

もう1つだけ。小中一貫校は、校長先生は1人なんですか。2人なんですか。

【高橋教育長】

当市が目指す小中一貫教育は、小学校と中学校が別ですから、基本的には校長先生は小学校1人、中学校1人になります。ただし、実際に紫波町では小中一貫教育をやっているのですが、そこは校長先生が小中で1人です。義務教育学校の場合は校長が1人、小中一貫教育の場合は、基本的には、小学校、中学校に校長がそれぞれ1人ということになります。場合によっては県との協議、相談で小中の校長先生を1人にするという可能性もあると思います。昔、橋野小中が併設校みたいな形で校長が1人でした。そういう形も考えられます。実際に紫波町でやっている形ですので、当市にとってどういう形がいいのか、また、県の教育委員会との協議もありますので、その辺はこれからなろうかなと思います。

【高橋教育長】

大石から釜石中学校までは、車では40分弱で通学が可能であることは、実際に車で走って計って確認しました。スクールバスだと停まる場所などの要件が異なりますが、1時間はかからないとみています。小学校は45分以内、中学校は1時間以内という基準を設けておりますが、その基準には収まると思っています。ただし、実際、時間が結構長いので、その辺りはいろいろと検討したいと考えております。

【教育委員会事務局】

その他、ございませんでしょうか。

【参加者】

(なし)

【高橋教育長】

スクールバスのことや双葉小学校と釜石小学校の校舎の使用など、様々なご意見をいただきましたので、検討すべきところは検討していきたいと思います。学校の適正化につきましては、教育委員会だけで進めているということではなくて、市の関係部署とも連携しながら、今日の説明会なども聞いてもらい、連携を取りながらそれぞれのところに対応して進めていきたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

(6)閉会